

日本動物園水族館教育研究会誌 投稿規定

2018年3月31日改訂

<投稿資格>

本研究会の会員(団体会員含む)が筆頭著者もしくは責任著者に含まれていること。ただし、研究会から依頼した原稿や研究会が認めた場合に関してはこの限りではない。

<募集する原稿とその種類>

主に動物園・水族館等の教育に関する研究を扱った未発表の内容であること。原稿の種類は下記の通りとする。

●原著論文

主に動物園・水族館等の教育に関わる最新の知見・成果や理論について、科学的手続きに基づき結果を得て、分析および考察が行われたものや、理論的・独創的に検証を論じたものとする。複数の校閲者による査読を経て、編集担当が掲載の可否を決定する。

●総説

主に動物園・水族館等の教育に関わる学問やその周辺分野について、設定されたテーマに基づき、これまでの研究や実践されてきた内容を総括・整理し、今後の課題や展望について理論的・客観的にまとめられたもの。複数の校閲者による査読を経て、編集担当が掲載の可否を決定する。

●実践研究

主に動物園・水族館等の教育に関する有効的な実践・活動事例について内容や手順が客観的に述べられ、そこから得られた結果に基づき分析および考察が行われたものとする。複数の校閲者による査読を経て、編集担当が掲載の可否を決定する。

●報告

主に動物園・水族館等の教育に関する取り組みや活動、今後の予報となる研究について報告されたものとする。また、過去の研究大会における発表内容の報告となるものとする。編集担当もしくは1名以上の校閲者による校閲を経て、編集担当が掲載の可否を決定する。

●会員通信、図書・文献紹介、動物園・水族館紹介

主に動物園・水族館等の教育に関わる内容を取り扱ったニュースやトピック、図書や文献の紹介、動物園・水族館(取り組みや活動も含む)の紹介のほか、研究大会の報告など会員間の情報交換の場となる原稿とする。

<原稿サイズ>

A4 縦とする

＜ページ数＞

枚数は2 ページ以上、刷上り 2～10 ページを目安にすること。

＜投稿原稿の様式＞

投稿する原稿の構成は下記の通りとする。様式に沿った原稿作成例(テンプレート)を研究会ホームページに掲載するので、必要に応じて活用すること。

原稿作成： 本文はできる限り、PDF 形式 (.pdf) もしくは Microsoft Word 形式 (.doc、.docx)で作成する。できない場合は編集担当と相談の上、投稿可能な形式で作成する。

投稿： 投稿はデータで事務局に送付する。原稿を電子データで送信できないときは印刷して紙ベースで郵送する。

書式： 横書き（図や表などは縦書きでも可）

文字数： 本文 文字数 40 字 行数 25 行
原稿には行番号、ページ番号をつける。

本文の文字： 本文中は 12pt 明朝体を用いる。ただし見出しはゴシック体を用いる。本文中の日本語は全角で表記する。英語、数字は半角とする。英語、数字を使う場合は Times New Roman を用いること。

句読点： 「、」「。」「」 とする。

文調： 「である調」とする。

数字・単位： 数字はアラビア数字を用い、度量衡の単位は SI 単位系を原則とする。

年・年度： 年および年度の表記は西暦による表記を原則とする。ただし、事業名や書籍など固有名詞として元号が使用されている場合はこの限りではない。

●原著論文、総説、実践研究、報告の書き方

1 ページ目

- 1 行目 原稿の種類
- 2 行目 原稿の枚数
- 3 行目 和文タイトル
- 4 行目 英文タイトル
- 5 行目 著者名
- 6 行目 著者所属名 所属先と住所を記入する。著者が複数であり、所属が複数にわたるときは氏名の後ろに番号(上付き)などをつけて区別すること。

- 7 行目 英文著者名 (5 行目の英文)
8 行目 英文著者所属名 (6 行目の英文)
9 行目 著者 (筆頭著者もしくは責任著者) の連絡先 (E-mail)

2 ページ目

Abstract (英文: 原著論文、総説は必須、実践研究・報告は省略可。300 語程度。)
key words (英文: 原著論文、総説は必須、実践研究・報告は省略可。5 語程度。)
和文要旨 (必須: 400~800 字程度、Abstract を書く場合は同じ内容にすること。)
キーワード (必須: 和文で 5 語程度、key words を書く場合は同じものにすること。)
(※文量が多い場合は次ページに続けること)

3 ページ目

本文開始

図表の挿入位置は本文横に赤字で指定すること。

添付図表:

- ・図表(写真は図として扱う)は本文の後に 1 ページずつ別紙として記入すること。別紙での図表は A4 用紙内に大きく描くこと。実際の大きさは編集部で調整する。
- ・各図表には必ず図表の通し番号とキャプションを挿入すること。表のキャプションは表の上、図のキャプションは図の下に挿入すること。
- ・図表の最大サイズは余白も含めて大きさが A4 縦に収まるサイズ(おおよそ縦 24cm、横 17cm 以内)にすること。横長になる図表は 90° 回転しても構わない。表などで情報が多くなり 1 ページ以内に収まらない場合には次ページに続きを掲載し、キャプションも「表○(続き)」とする。
- ・図表の点数に制限はないが、編集上すべての図表の掲載が困難であると判断した場合、編集担当と著者で協議を行ない変更、削除する場合がある。
- ・写真や図はカラー出力できないため、事前に白黒で状況を確認すること。
- ・写真の解像度は刷り上がりサイズで 300dpi 以上であること。
- ・写真や図版、原稿は原則として返却しない。返却が必要な場合は事前に申請すること。
- ・写真を使用する場合、撮影者の著作権および写真の肖像権について確実に了承をとった上で使用するよう注意すること。

文献の引用:

- ・本文中での引用は必要箇所に(著者名<名字・First name>, 発行年)と表記し、年代順に列記する。同一著者の出版物が複数ある場合には年「; (セミコロン)」で区切り、出版年も同一のものは年の後にアルファベットを付けて区別すること。
- ・著者が 3 名以上の文献については、和文の場合は(第一著者の名字 ほか, 発行

年)、英文の場合は(第一著者名 et al., 発行年)とする。詳細は原稿作成テンプレートを参照すること。

引用文献：

文末に、引用文献の列記を行なう。列記の順は著者の名字および First Name のアルファベット順とする。著者が3名以上の場合でも「〇〇ほか、〇〇et al. 」と省略せず、全員の名前を記述すること。著者が同じ場合は年代順とし、著者と出版年が同一のものは、年の後にアルファベットを付けて区別すること。各文献は下記の例に従うこと。詳細は原稿作成テンプレートを参照すること。

<学会誌・研究会誌などの論文の場合>

著者名(発行年)論文タイトル. 雑誌名, 巻号: 初頁-終頁.

<単行本の場合>

著者名(発行年)本のタイトル. ページ数. 出版社, 出版社所在地.

<単行本の中の一部の章などの場合>

著者名(発行年)章のタイトル. 本の編著者名. 本のタイトル. 章の初頁-終頁. 出版社, 出版社所在地.

<インターネットからの引用>

管理者名(発行年)ページのタイトル. URL. 閲覧日.

※インターネットページの引用に関しては確実な情報が掲載されている公的機関などものに限る。

●会員通信、図書・文献紹介、動物園・水族館紹介の書き方

タイトル、著者名、著者所属を記入のうえ、本文を Microsoft Word 形式(.doc、.docx)もしくはテキスト形式(.txt)で作成する。図表の作成に関しては「原著論文、総説、実践研究、報告の書き方」と同様なので添付図表の項を参照すること。

図書紹介の場合は、著者、タイトル、出版年、出版社、ISBN を明記すること。また、文献の場合は、著者、出版年、タイトル、掲載誌名、巻号、ページを明記すること。

<投稿の締め切り> 2019年9月10日(火)

(これより前に提出していただくのは一向に構いません)

<原稿の送付先>

日本動物園水族館教育研究会 事務局

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町 50

アクアマリンふくしま 古川 健 宛

E-mail: furukawa@aquamarine.or.jp

電話：0246-73-2539 Fax：0246-73-2527

<原稿受理後のデータ送付>

原稿が受理されたら、投稿者は編集担当の指示に従い、本文や図表、写真の最終データを必要な形式で提出すること。

<校正> 原稿を受理後、著者校正を1回のみ行う。この際の校正は誤字・脱字の修正、図表の挿入位置の確認などにとどめ、本文や図表の変更などは認めない。著者は2週間以内に校正を済ませ事務局へ再提出する。

<別刷り> 研究会誌が出版された後、掲載原稿の電子データ（PDF ファイル）を編集担当より著者へ送付する。入稿の都合上、別刷りの印刷は行わない。

<著作権> 本研究会誌に投稿された原稿は、受理された時点ですべて日本動物園水族館教育研究会に帰属する。

<原稿の執筆に関するお問い合わせ・相談・サポート窓口>

原稿の作成に関してご意見、ご質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。また、編集担当では研究会誌の執筆に関する相談・サポートも行ないます。投稿に関して不明な点、その他執筆に関してわからない点やサポートが必要な際には、担当までお気軽にご相談、ご連絡ください。

日本動物園水族館教育研究会 運営委員編集担当

金尾滋史（滋賀県立琵琶湖博物館）

松本朱実（動物教材研究所 pocket）

地村佳純（碧南海浜水族館）

連絡先（金尾）

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 滋賀県立琵琶湖博物館

E-mail: kanao-shigefumi@biwahaku.jp

TEL: 077-568-4811 FAX: 077-568-4850